

■会議室

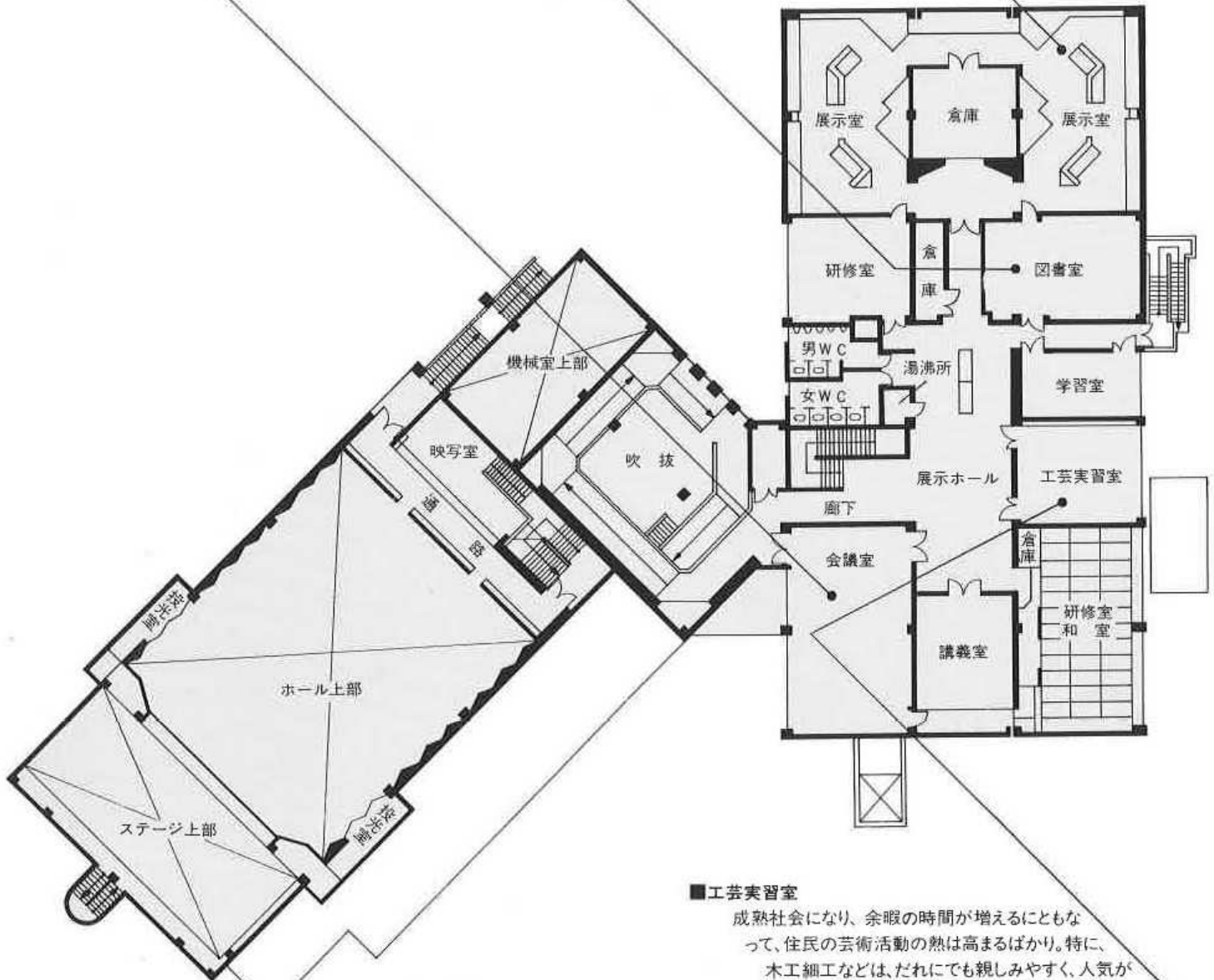
テーブルとイスを配置した場合は定員70人、イスだけの配置なら定員100人という「会議室」。室内の前面には、プラットホーム、レクチャーテーブル、ビデオなどもそなえられているほか、カンファレンス・サウンド・システムがセットされ、研修や講演、小会議など、その目的や必要に応じて活用できる「会議室」です。

■図書室

学習目的や資料統計調査で利用されるのはもちろんのこと、集団検診や研修会、会議にきたついでにも「本」に親しめるように、と配慮されてつくられたのが、この「図書室」です。テーブル、イス、本棚は、いずれも木工品でシックなムード。窓の外には、全長1034mを誇る関越道路片品川橋や、赤城北面の山ろくがながめられ、環境の良い中で、読書が楽しめます。

■展示室

石器や土器、民具はそれを生み出した人々の暮らしや文化の在りようを知る貴重な窓口なのです。当館展示ホールでは、石器や民具はもとよりあまり人の目にふれたことのない貴重な品々を展示し、暮らしや文化を考える場としたいと思います。



2 F 平面図

■工芸実習室

成熟社会になり、余暇の時間が増えるにともなう、住民の芸術活動の熱は高まるばかり。特に、木工細工などは、だれにでも親しみやすく、人気が集まっています。そうした活動の拠点に、とつくられたのが、「工芸実習室」。フロアはタイル張りですが、インテリアはすべて木工品、落ちついた雰囲気の中で、工芸に取り組めます。